

ウメ一輪一輪ほどの暖かさ。春の足音は聞こえ始めました。園内では野鳥がにぎやかに採食している姿をよく見かけるようになりました。

★開花情報

ウメ（梅）バラ科サクラ属（写真1）

中国原産で万葉の時代から日本人に親しまれ、庭や畑に植えられます。栽培の歴史は古く、今日では実梅から花梅までたくさんの品種が作出されています。果実は梅酒や梅干しの他に、青ウメを燻製して作る漢方薬「烏梅（ウバイ）」の原料にもなります。この「烏梅」は紅花から紅の色素を取り出す媒染剤としても利用されます。また「烏梅」を中国では「ウメイ」と発音するため、ウメの語源になったという説があります。ウメには花柄がなく、枝に沿うように花が付き、サクラの花柄が長いのと異なります。苗畑、本館周辺、見本園に植栽されています。

ヤブツバキ（藪椿）ツバキ科ツバキ属（写真2）

日本を代表する樹木で、北海道を除く日本全国に広く分布します。中国地方では萩市虎ヶ崎、四国地方では足摺岬にヤブツバキ群落があります。また、青森県東津軽郡平内町には「椿山」と呼ばれるかなりの群落があり、「ツバキ自生北限地帯」として国の天然記念物に指定されています。耐寒性に優れ、花も葉も美しく育てやすいので、庭木としても用いられ、園芸品種も雑種を含めて2000種以上あります。園内各所に自生し、ツバキ園では園芸品種が多数植栽されており、「秋の山」、「玉霞（写真3）」、「菊月」などの花も見頃です。

アセビ（馬酔木）ツツジ科アセビ属（写真4）

万葉植物の一つで、漢字名にもあるように大型の哺乳類が誤って食べると酔ったようにフラフラする有毒植物です。早春に鈴状の白い花が多数垂れ下がってつき、芳香があります。ピンク色を帯びた花をつける品種もあります。別名アシビ、アシシビ、アセボともいいます。樹木探勝園前で他のアセビよりも一足先に咲き始めました。

その他見頃情報

開 花…アテツマンサク、ソシンロウバイ、十月桜、冬桜、ツバキ各種





写真1 ウメ (苗畑) H26.2.28



写真2 ヤブツバキ (管理事務所上三叉路)



写真3 玉霞 (ツバキ園) H26.2.28



写真4 アセビ (樹木探勝園前) H26.2.28